

一般会計歳出の特徴

■義務的経費 前年度比2・3%増となり、また、構成比も49・1%と高くなっています。

○人件費 行財政改革の推進により一般職員を減員したものの、本年は選挙執行費の報酬などが多額となり、人件費は横ばいとなっています。

○公債費 臨時財政対策債などの元金償還が増えたことにより、4,905万4千円の増額となっています。

○扶助費 児童手当の拡充などにより、6,055万3千円の増額となっています。

■投資的経費 前年度比13・4%減の緊縮型となりました。内訳は、旧機業場の保存活用やまちなか整備を推進する「まちづくり交付金事業」に2億3,000万5千円、地域再生計画に基づく「道整備交付金事業（林道分）」に5,379万円、国史跡白山平泉寺旧境内「史跡等公有地化事業」に4,500万9千円などを計上しています。また、新たに7,200万円をかけて長山公園リフレッシュ事業に着手します。

■その他の経費
○物件費 選挙執行費や嘱託職員などの賃金見直しなどで増額しているものの、全体として昨年とほぼ同額となっています。

○補助費等 大野・勝山地区広域行政事務組合負担金が、2,847万4千円の増額となりましたが、清掃費関係で減額となり、全体で前年度比

4・5%の減となっています。

○繰出金 特別会計などへの繰出金は、全体で6・5%の減となっています。内訳は、介護保険会計で前年度比5,35万8千円増額の3億2,888万7千円、指定管理者に移行した温泉センター会計への繰出金は皆減、下水道会計では1億6,93万3千円の減額となっています。

おもな予算内容

◆子育て支援、教育環境の充実

成器南小学校の余裕教室を利用し、新たに児童センター、放課後児童クラブを開設します。平泉寺児童館や成器南児童教室を含め、全小学校9校下10力所で、放課後子どもプランに取り組み、放課後児童の総合的な健全育成を図ります。さらに、特別な配慮を要する幼児・児童に対応する職員を対象に、カウンセリング事業を実施します。保育園保育料については、保育料月額表を改定し、全階層区分で月額1,000円の減額を実施し、「第3子以上乳幼児育成奨励金事業」や「乳幼児健康支援一時預かり事業」などの子育て支援施策を継続します。

中学校教育用コンピュータ120台を更新し、2園となった市立幼稚園では3歳児からの受け入れと学校給食配達による食育の改善を図ります。

◆健康長寿の推進

「長山公園リフレッシュ事業」に着手します。また、ウォーキングコースである弁天緑地に照明設備を増設し

す。

市営温水プールを活用し、水中運動教室や、生活習慣病予防のためのヘルスアップ事業に取り組みます。

地域包括支援センターでは、高齢者の総合的な介護支援・介護相談などにあたります。また、「地域ぐるみ雪下ろし事業」などの福祉施策は、昨年の税制改正で課税世帯となった高齢者世帯が助成対象世帯となるよう経過措置を継続します。

◆定住環境の充実とまちなみ整備

定住人口の増加を図るため、住宅取得助成制度（定住化促進事業）をリニューアルし新たに3年間実施します。

「まちづくり交付金事業」では、旧機業場の整備とまちなか散策ルート

の整備などを予定しています。平泉寺の史跡整備関連では、史跡整備の実施設計、石畳道の整備、公有地化事業などを行います。また、平泉寺旧境内へのアクセスとなる区内市道の拡幅工事に着手します。

団塊世代のIJUターンの促進するため、「あなたを活かすふるさとづくり事業」を充実します。

◆安全・安心なまちづくり

救急業務の高度化を促進するため、高規格救急車1台を増強します。また、災害時要援護者に対する地域ぐるみの避難支援プランを策定するほか、相続放棄された不在家屋対策の法手続きなどにも努めます。さらに、通学路の安全確保などに小型道路照明の設置を継続するほか、女性交通指導員の制服等

を整備します。

下水道事業の計画的な整備を促進し、水洗化率の向上を目指します。伊知地・坂東島地区の農業集落排水施設整備に向けて新たに調査設計業務に着手します。

また、簡易水道会計では、鹿谷地区簡易水道を上下水道事業会計に経営統合するため施設整備を行います。

◆農林業・地場産業などの支援

制度を充実した工業振興助成金制度により、企業誘致と既存産業の活性化を図るため、産業振興戦略会議を継続して行います。

北部・北部第2地区などの土地改良整備事業と、南部第2・東部地区における新規事業採択に向けた県営事業負担金を大幅に増額し、農業生産のための環境基盤整備をサポートします。「中山間地域等直接支払事業」を継続し、農地・用水などの農村環境向上を図るため、「農地・水・環境向上対策支援事業」を実施します。

また、アメニティ施設やアクセス林道を整備する里山エリア再生交付金事業も継続して実施します。

◆文化・観光振興・

まちの賑わいづくり

「霊峰白山と山麓の文化的景観」の世界遺産登録を目指して、他の自治体と連携し、新たに推進事業を展開します。「かちやま夏物語」などを継続するほか、冬の風物詩である「年の市」への補助金も増額します。

平成19年度の新事業

活力ある勝山を

エコミュージアム推進への新しい事業

市民が参加する21世紀の夢のあるまちづくり

- ・福井県立大学とのまちづくりに関する共同研究 【600千円】
- ・“ありがとうメッセージ”の募集 【463千円】
- ・戸籍業務の電算化（総事業費5年間108,000千円） 【2,705千円】

少子・長寿化に対応した人にやさしいまちづくり

- ・宿泊体験型の若者出会いイベントの開催 【222千円】
- ・3歳未満児への児童手当支給額の加算 【21,790千円】
- ・幼児を対象とした発達相談会を開催 【62千円】
- ・幼児教育・保育支援事業（カウンセリングや研修会など） 【862千円】
- ・成器南児童教室で放課後児童クラブを新設 【6,885千円】
- ・荒土児童ホールの増築工事 【20,400千円】
- ・市営温水プールにて水中運動教室の開催 【2,739千円】

平成19年度に実施されるおもな新規事業です。勝山市は、ふるさと勝山の「復興」、「再生」をめざす『ふるさとルネッサンス』を基本理念に「ミュージアム推進によるまちづくりを目指す」ため、5つの「まちづくり」を軸に事業を展開していきます。

誰もが学ぶ心が通う ふれあいのまちづくり

- ・教育相談事業（特別支援相談など）【88千円】
- ・地域に根ざした開かれた学校づくり 【900千円】
- ・中学校のコンピュータ更新 【4,043千円】
- ・中部中学校耐震補強・実施計画の作成 【2,250千円】
- ・放課後子どもプランの推進 【11,722千円】
- ・幼稚園給食の推進 【1,259千円】
- ・猪野瀬公民館のトイレ改修 【4,500千円】
- ・平泉寺菩提林内の石畳道一部修復 【3,500千円】
- ・「霊峰白山と山麓の文化的景観」の世界遺産登録の推進 【1,664千円】
- ・育英資金の
入学一時金貸付制度の導入 【7,000千円】

産業とまちのにぎわいなど 若者に魅力あるまちづくり

- ・水田営農条件整備事業 【1,402千円】
- ・食育推進計画の策定、食育の推進 【314千円】
- ・農地・水・環境向上対策支援事業 【12,855千円】
- ・南部第2、東部地区土地改良事業計画書作成 【1,147千円】

環境に配慮した誰もが住みたくなる 安全なまちづくり

- ・平泉寺荘前にバス待合所を整備 【1,500千円】
- ・かつやまをきれいにする運動の推進 【437千円】
- ・凍結防止剤散布車の整備 【17,953千円】
- ・弁天緑地に照明装置を設置 【5,000千円】
- ・長山公園グラウンドのリフレッシュ 【72,000千円】
- ・高規格救急自動車等の整備 【30,634千円】
- ・鹿谷地区簡易水道統合整備 【82,665千円】
- ・伊知地、坂東島地区の
農業集落排水施設整備に向けた測量調査等 【40,400千円】